



丸亀市
MARUGAME CITY

議会だより

No. 92

発行日 2022年(令和4年)8月1日
発行 丸亀市議会
編集 広報広聴委員会
TEL (24)8828
市ホームページ
<http://www.city.marugame.lg.jp/>



瀬戸内国際芸術祭2022本島会場スタートイベント
第2回本島タコタコフェスティバル



6月定例会 2日～20日

主な内容

- 特集 ようこそ丸亀市議会へ…………… 2
- 定例会・議案の内容 …………… 4
- 人事案件・請願・議会の動き …………… 5
- 一般質問…………… 6～13
- 委員会審査……………14
- 質疑・意見書……………15
- 写真募集案内・編集後記……………16





親子室

親子室には木の
遊具が…
小さなお子様連れ
でも安心して議会
をご覧ください
ます。



議場内モニター

採決は電子表決
システムを導入し、
各議員の賛否が、
より見やすくなり
ました。

1 渡邊一馬	9 廣田勝也	17 三宅真弓	
2 守家英明	10 武田孝三	18 多田光廣	
3 角野仁美	11 香川勝	19 福部正人	
4 中谷真裕美	12 川田匡文	20 内田俊英	
5 東由美	13 横川重行	21 真鍋順穂	出席議員数 24人
6 神田泰孝	14 加藤正員	22 横田隼人	表決回数 11人
7 水本徹雄	15 大西浩	23 山本直久	賛成 11人
8 岡田剛	16 竹田英司	24 大前誠治	反対 0人

議会図書室

議員の調査研究の
ために設置されて
います。



【議会のいちねん】

4月

臨時会

次の定例会の開催までに議決が必要な場合は、臨時会を開催します。通常、議長・副議長選挙や常任委員会委員の選任が行われるのは、4月臨時会です。

6月

定例会

7月

行政視察

8月

先進的な事例など、常任委員会ごとに他市を訪問して勉強します。

9月

定例会〈決算委員会〉

通常の議案審議、一般質問、委員会審査に加え、前年度決算に関する審査を行います。

12月

定例会

3月

定例会〈予算委員会〉

9月同様、併せて次年度の予算に関する審査を行います。

年1回

議会報告会&意見交換会

随時

高校生との意見交換会

◎定例会を みてみよう！

本会議開会中は、ライブ中継がご覧いただけます。
録画配信は、ライブ中継終了後、約1週間ほどで開始します。



◎会議録を 読んでみよう！

ホームページで、本会議の会議録が掲載されています。
議員名やキーワードからの検索も可能で、誰でも見ることができます。



◎議会の傍聴を してみよう！

本会議、常任委員会、特別委員会を公開しています。
コロナ禍で席数の制限はありますが、お気軽にどうぞ。



◎議会報告会に 行ってみよう！

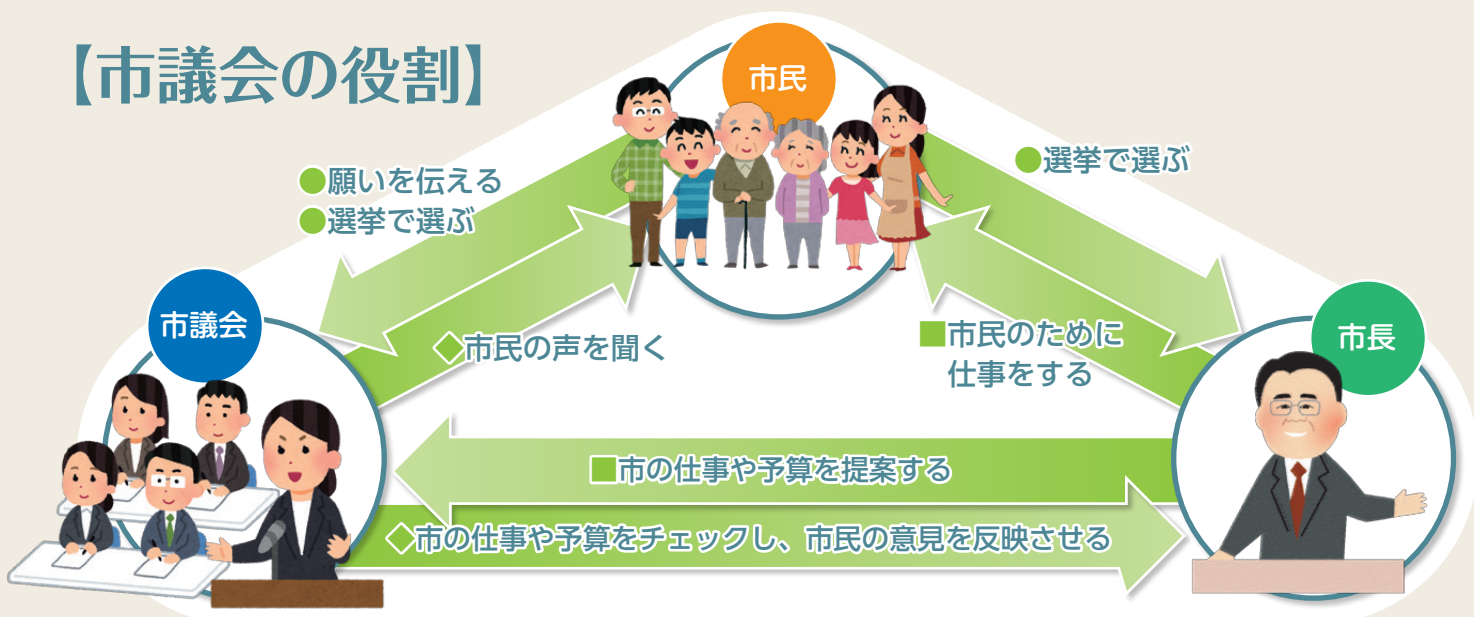
最近の議会で話し合ったことや決めたことを、議員が直接報告します。
あわせてテーマを設けた意見交換会も開催しますので、ぜひご参加ください。
(今年度の日程・詳細は未定です。)

ようこそ 丸亀市議会へ

議会だよりでは、毎号、市議会で審議したこと、決まったことなどをお伝えしていますが、そもそも市議会ってどんなところでしょう？

議員が、いつ、どこで、何をしているのか…仕組みや役割をあらためて紹介します。

【市議会の役割】

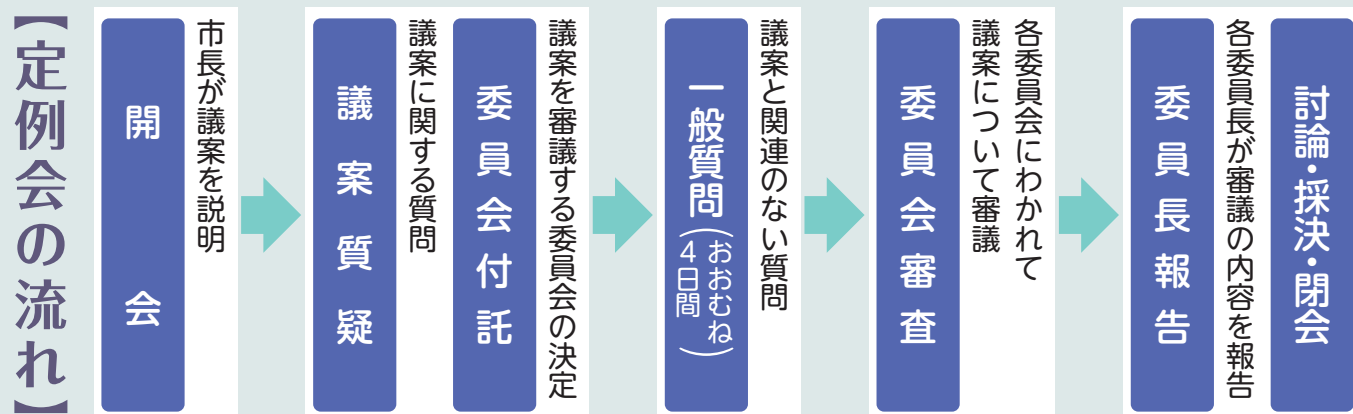


市の方針を決めるとき、本当は市民みんなで話しあって決めるのが理想です。

ただ、全市民が一堂に集まって話し合い、決定することは不可能なので、市民は選挙をして代表者を選びます。それが、市議会議員と市長です。

市議会は、市長の提案する事業計画や予算、条例制定などについて審議し、市の運営が適切に行われているのかをチェックします。

市議会と市長は独立した立場から協力し、意見を出し合って、市民生活向上のために活動しています。



6月定例会 6月2日～20日 (13日間)

- 2日
 - ・議案第55号
 - Ⅱ 提案理由の説明・質疑・討論・採決
 - ・議案第56号～66号
 - Ⅱ 提案理由の説明
 - ・議案第67号
 - Ⅱ 提案理由の説明・質疑・討論・採決
 - ・中讃広域行政事務組合
議会議員の補欠選挙
- 6日
 - ・議案第56号～66号
 - Ⅱ 質疑の後、各常任委員会に付託
- 7～10日
 - ・一般質問
- 13日
 - ・教育民生委員会
 - ・都市環境委員会
- 14日
 - ・総務委員会
- 20日
 - ・議案第56号～66号
 - Ⅱ 委員長報告・討論・採決

議案の内容

市長から、こんな提案がありました。

- ▼ 議案第55号 専決処分の承認
(一般会計補正予算(第1号))
新型コロナウイルス感染症の影響による物価高騰等を勘案し、国庫支出金を財源とした子育て世帯生活支援特別給付金やその給付に係る事務費を計上する専決処分について承認を求める。
- ▼ 議案第56号 一般会計補正予算(第2号)
歳入歳出それぞれ2億429万3千円を追加し、総額を543億1199万3千円とする。
- ▼ 議案第57号 国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出それぞれ150万円

- を追加し、総額を120億5950万円とする。
- ▼ 議案第58号 市税条例等の一部改正
地方税法の一部改正に伴い、住宅借入金等特別税額控除の見直し、上場株式等の配当所得等に係る課税方式の見直しなどを講ずるとともに、項ずれへの対応を行う。
- ▼ 議案第59号 後期高齢者医療に関する条例の一部改正
香川県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正に伴い、所要の改正を行う。
- ▼ 議案第60号 市民センター設置条例の一部改正
本島市民センターの改築に伴い、施設の位置を変更する。
- ▼ 議案第61号 コミュニティセンター条例の一部改正
本島コミュニティセンターの改築に伴い、施設の位置並びに室名及び使用料を変更する。
- ▼ 議案第62号 附属機関設置条例の一部改正
教育委員会が所管する市立学校教育支援委員会委員の定数を増やし、構成者の種別を明確にする。
- ▼ 議案第63号 工事請負契約の締結(仮称)市立城乾こども園(園舎新築工事)
制限付き一般競争入札により、公栄建設株式会社と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。
- ▼ 議案第64号 工事請負契約の締結(仮称)市立城乾こども園園舎新築に伴う機械設備工事)
制限付き一般競争入札により、三宅設備工業株式会社と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。
- ▼ 議案第65号 物品の購入(消防ポンプ自動車CD-1型(消防団)1台)
指名競争入札により、株式会社岩本商会高松支店と仮契約を締結したため、議会の議決を求める。
- ▼ 議案第66号 債権の放棄(保育士就職準備金貸付金)
保育士就職準備金貸付金に係る債権を放棄することについて、議決を求める。
- ▼ 議案第67号 監査委員(議員選出)選任の同意
監査委員(議員選出)の選任に議会の同意を求める。

人事案件

今期定例会に提案された人事案件は次のとおり（敬称略）。

▼監査委員

議員選出委員

城東町 川田 匡文

請願審査結果

請願第1号 「香川県主要農作物等の種子条例の制定を求める意見書」の提出を求める請願

種子を守る会 香川

代表者 佐久間 雅子

ほか3名

●請願の趣旨

近年の異常気象への対応や食糧保障の観点からも種子生産事業の盤石化は重要な事案と思われる。また、知的財産を守り、伝統的に栽培されてきた品種や県開発の品種を永続的に繋いでいく為にも、本県独自の種子条例が必要と考える。以上のことから、「香川県主要作物等の種子条例の制定を求める意見書」を県に提出することを請願する。

●議会の意見および審査結果 継続審査

議会の動き

4・5・6月

4月

7日 各派会長会
15日 全員協議会
各派会長会
議会運営委員会
19日 市民会館整備特別委員会
20日 各派会長会
議会運営委員会
21日 教育民生委員会協議会
22日 都市環境委員会協議会
26日 臨時会
各派会長会
市民会館整備特別委員会

5月

2日 広報広聴委員会
6日 各派会長会
10日 広報広聴委員会
17日 各派会長会
18日 全員協議会
19日 教育民生委員会協議会

5月

23日 議会運営委員会
30日 教育民生委員会協議会
広報広聴委員会

6月

2日 本会議
6～9日 本会議
10日 本会議
全員協議会
広報広聴委員会
13日 教育民生委員会
教育民生委員会協議会
都市環境委員会
都市環境委員会協議会
14日 総務委員会
15日 市民会館整備特別委員会
議会運営委員会
20日 本会議
総務委員会協議会
各派会長会

議会を見に来ませんか

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、本会議や委員会の傍聴は、席数を制限させていただいております。

会議当日、傍聴受付をすればどなたでも傍聴できますが、審議内容により秘密会になることがあり、その場合は傍聴できません。

※本会議の傍聴受付は、市役所5階議場傍聴席入

り口（5階議場前のホール）です。

傍聴の受付は、会議開始15分前から行います。

※委員会の傍聴受付は、市役所5階議会事務局で、会議開始15分前から行います。

なお、傍聴を希望される方は、マスクの着用や入場時の手指消毒など、感染症対策にご協力ください。また、発熱や倦怠感・咳など、体調不良のある場合は、傍聴をお控えください。

一般質問

15人の議員が市政を問う

■質問者・項目
太字の項目は本文中に要約文を掲載

横田 隼人

①新型コロナウイルス地方創
生臨時交付金②高齢
者支援③水道基本料
金の補填④コロナ経
済対策

香川 勝

①保育所のおむつ持
ち帰り②さんきゅう
パプロジェクト③
金融・消費者教育

角野 仁美

①孤独・孤立・ひき
こもり解消②18歳成
年と消費者教育③バ
ッティングイベント

竹田 英司

①人事・給与構造改革
②学校での社会教育

三宅 真弓

①崖地からの移転補
助②マイクロチップ
③ミモカイ作品募
集と猪熊弦一郎現代
美術館

渡邊 一馬

①ヤングケアラー②
医療的ケア児支援③
学校給食の充実（有
機食材）

真鍋 順穂

①新型コロナウイルス②世界
的な食糧危機と食料
安定保障の強化対策

守家 英明

①海ごみ対策②災害
対策③少子化対策

福部 正人

①空き地等②健康づ
くり③証明書交付サ
ービス④医療費無償
化⑤学校体育館⑥丸
亀城

加藤 正員

①コロナ感染による
生活困窮対策②栗熊
保育所民営化③パー
トナーシップ制度

横川 重行

①人口減少対策②S
DGs 循環型社会

内田 俊英

①コロナ禍の学び確
保②城下町と丸亀城
③「AI」で市民意見
を政策に

中谷真裕美

①難聴高齢者への「き
こえの支援」②防災
と福祉の連携

神田 泰孝

①離婚手続き②通信
困窮者支援③水難事
故対策シール④資料
館⑤移住案内ブース

水本 徹雄

①行政課題と資金調
達②市の情報発信③
若年性認知症④電動
キックボード⑤リュ
ースの促進

誰もが受けられる
生活支援を



横田隼人議員



水は大切に使いましょう

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、水道基本料金の無償化をしようか。光熱水費の中でも水道料金であれば、比較的少ない事務で広く市民生活を支援することができるのではないかと。水道基本料金を半年間無料にする場合、いくらかかるのか。また、問題は。



A

市長公室長 主に一般家

庭で使用されている口径の使用件数約5万2千件分の基本料金（月額900円）を6か月分として積算すると、概算で約2億8千万円必要となる。市が水道基本料金を補填する場合の問題点としては、節水意識の

後退を招く懸念があること、水道料金システムの改修をはじめ、新たな事務作業等が発生することなどが考えられる。また、香川県広域水道企業団が一つの組織体であることから、他市町との意思疎通など、慎重な対応が必要と考えている。

保育所の おむつ持ち帰り

Q



香川 勝 議員

保育所から使用済みおむつを毎日持ち帰ることが、保護者の切実な悩みとなっている。公立保育所での使用済みおむつの処理について、本市と近隣市町の現状は。また、衛生的な観点からも、おむつを一瞬で密封する「使用済みおむつ密閉パックシステム」を導入してはどうか。



公立保育所での取り扱いは…

A 教育部長 子どもの健康状態を把握するため、本市の公立保育所では使用済みおむつを保護者が持ち帰っている。その一方で、県内では、4市町の公立園が施設での処理を行っている。

導入は、現状のゴミ回収に合わせた処分方法では実施が困難だが、専用のフィルムで密閉すること、家庭への持ち帰りや施設での保管、処分に有益と考えるため、初期費用やランニングコスト等を含め、導入の可能性を調査研究していきたい。

イベントで 球場ににぎわいを

Q



角野仁美 議員

市民球場の利用増とにぎわい創出のため、バッティングイベントを開催してはどうか。オリブガイナースや高校生などの協力を得て輪を広げることや、市長による始球式なども提案したい。他市では、このイベントが好評で、コロナ禍にもかかわらず利用は右肩上がりだと聞くが、市の考えは。



BP丸亀(丸亀市民球場)

A 市民生活部長 本格的な野球経験がない人に球場を利用してもらうことは、球場の利用率向上となるだけでなく、多くの市民に球場を認知してもらう機会にもなるため、丸亀市民球場でもバッティングイベントの実施に向け、球場の指

定管理者である丸亀市スポーツ協会との協議を進めたい。また、協議の際には、オリブガイナースや様々な野球経験者への協力を相談するほか、始球式の実施に関しても、協議検討していきたい。

希望を抱ける 人事制度改革を

Q



竹田英司議員



市職員の働き方改革を

公務員の人事評価制度は、これまでの年功序列型から、責任と処遇の一致した納得性の高い給与体系に転換するべきでないか。現在の市の基準では、課長の給料よりも、勤務年数の長い副課長や超過勤務の多い担当長の給料が多くなる場合がある。職員のモチベーションを維持し、昇格に希望を持つために、市の対応は。



A

市長公室長 地方公務員の給与制度は、均衡の原則に基づいており、管理職手当を本市のみ突出させることは難しいが、過重労働防止のためにも、今後とも時間外勤務手当の抑制に努める。なお、職員のモチベーション維持を図っていく

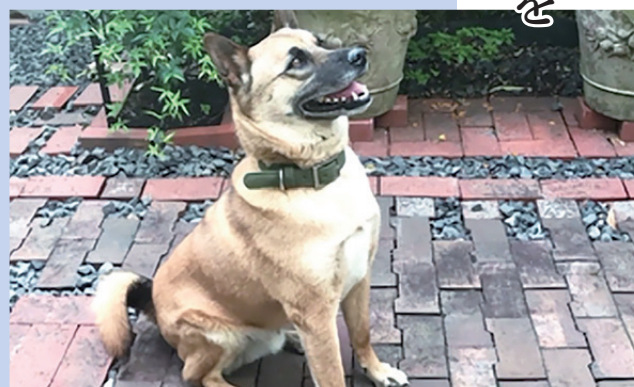
とともに、達成感や充実感など自己実現の過程などを考慮し、職員一人一人が政策提案できる仕組みづくりや、目標等について話し合う面談など、組織全体でやりがいを持って働ける風土づくりに取り組んでいきたい。

マイクロチップ いのちの環境改善を

Q



三宅真弓議員



もしもの時に命を守るマイクロチップ

6月1日、動物の愛護及び管理に関する法律が改正され、販売される犬猫へのマイクロチップ装着が義務化されたが、現在飼育されている犬猫等への装着は努力義務である。迷子や逸走などで殺処分される可能性のある犬猫たちにとっては、命の環境を守る費用に、軽減策を講ずる考えは。



A

市長 マイクロチップの装着は、迷子になった動物が飼い主のもとへ速やかに返還されるときともに、無責任な遺棄を抑制し、野犬や野良猫の減少、また、殺処分数の減少につながる事が期待されている。市では、人と動物の共生社会の実現を目指す法の趣

旨に基づき、努力義務である家庭で既に飼育している、あるいは販売業者以外から譲り受けた犬猫等に対しても、装着を促進していきたい。今後は、装着の意義や役割の周知に努めるとともに、装着費用を助成するための制度創設に向けて、具体的に検討を進めていく。

12月8日
有機農業の日に向けて

Q



渡邊一馬議員



おいしい給食で 楽しく元気に!!

化学肥料や農薬を使わずに育った有機米や有機野菜を学校給食で取り入れる動きが広がっている。地元有機農家の抱える課題は、有機農業への就農を増やすことと給食を作る人達との連携・調整が不可欠とのことだが、学校給食への有機食材の取り入れ方について、市の取り組みは。



A

教育部長 12月8日の有機農業の日にあわせ、12

月中に有機食材を使用した学校給食の提供することを目指している。継続して協議中の有機農家から提供可能な数種の野菜を使った献立を栄養教諭等と検討し、納入品目や数量、価格等の

協議を行っていききたい。今後は、これまでの地元農家からの調達とは別に、有機農家が献立に必要な野菜の何をどれだけ栽培できるか、調整や協議を継続的に行うことで、毎年少量からでも有機食材の使用ができるよう取り組みんでいきたい。

世界的な食糧危機と
食料の安定供給

Q



真鍋順徳議員



担い手を育成して農業に明るい未来を

ロシアによるウクライナ軍事侵攻、新型コロナウイルス感染症、自然災害など、私たちの生存に不可欠な食料の不足、安定供給への不安が、世界的規模で拡大している。農地関連法の成立を受け、地域計画の策定、将来の農地の受け手の明確化、また、それに沿った農地の集約化対策は。



A

産業文化部長 今回の農地関連法の改正は、農用

地の効率のかつ総合的な利用を促進し、農業を担う者の確保及び育成を図るために行われた。地域計画の策定では、今後国の補助事業との関連づけが考えられることから、それらの政策に対

応できるよう各地域での計画策定の気運の醸成を図り、策定現場の負担とならないよう制度設計を求めるとともに、次世代の新たな担い手の確保や農地の効率化、総合的な利用の姿を明確にし、希望ある営農を継続できるように国や県に強く要望していきたい。

瀬戸内オーシャンズXとの連携は

Q



守家英明議員



金倉川

海ごみの多くは、陸地部から川を流れて海に出たものであるため、複数の市町を経由している場合がある。例えば、金倉川は、本市のほか善通寺市、琴平町、まんのう町を流れている。この2市2町で事業に取り組んではどうか。昨年度、大学と行政、地元ボランティア等が連携する瀬戸内オーシャンズXのモデル事業が始まった。本市の取り組みは。



A

市民生活部長 本市では、現在、広報紙やホームページのほか、環境月間に合わせたパネル展実施など、ポイ

捨て防止の周知啓発を図るとともに、国や県、沿線自治体、地域住民等と協力して土器川、金倉川、大東川の清掃活動に取り

組んでいる。今後は、こうした取り組みでもオーシャンズX事務局と情報を共有し、公益機関での連携検討を進めていく。その際には、国や沿線自治体等とも協議し、オーシャンズXとの連携についての合意形成が図られるよう努める。

管理不全の空き家・空き地対策は

Q



福部正人議員



管理不全となった土地 誰がどうする？

市は、空き地と空き家敷地管理の問題に対して、別々の条例に基づいて対応している。空き家と空き地の取り扱いに差があることや、強制力、調査権限の不十分さが課題と考えるが、条例を一本化し、空き地の所有者や現場等の調査、積極的な活用促進と管理不全の空き地に対する代執行ができるよう、改正してはどうか。



A

都市整備部長 空き地に関する所有者等の調査や

税情報の活用、略式代執行などは、法律に特に定めがなく、認められていない。そのため、空き家と空き地を同様に扱うことは困難であり、条例を一本化するメリットは少ないと認識

しているが、緊急安全措置の適用は、地方公共団体ごとの裁量による部分もあるため、本市でも、適正管理の責務は所有者等にあることを大原則としながら、条例改正も含め、課題解決に資する緊急安全措置の在り方を調査研究していく。

栗熊保育所 民営化からの展開は

Q



加藤正員議員



市立栗熊保育所

栗熊保育所の民営化について、突然の話で、地域も大変驚き、不安が広がっている。特に、栗熊保育所の保護者やコミニティほか地域の関係者には、今後の見通しを含めた丁寧な説明を求める。また、地域の子どもの減少を背景に、富熊保育所との統合や小学校の合併も可能性はあるのか。



A

教育部長 保護者とコミ

ユニティ役員には説明済みであり、今後も説明会や私立保育園の見学会を行いながら、十分な理解と納得を得て進めていきたい。これまで綾歌地区には、こども園1園と保育所3園が必要という保育ニーズがある。

今後、ニーズの変更がなければ、富熊保育所は耐用年度まで存続で検討していく。また、学校は地域の交流や災害時にも利用されることから、地域の児童数の推移を見極め、保護者や地域の方々と共通理解を深めながら、適正な配置を検討していく。

丸亀を 帰りたい故郷に

Q



横川重行議員



身近な企業の「仕事」に触れる産業教育

大都市で就職したものの、失って初めて地元の良さに気づく人、都会で生まれ育ったけれども地方の豊かさに憧れている人、仕事のストレスや転機から地元へ戻ってくる人もいる。生まれ育った丸亀に帰りたいと思われるような仕組み、人間関係、環境づくりへの取り組みは。



A

市長 市では、地元産業

を子どもたちに紹介する産業教育をはじめ、産業振興、地元企業へのインターンシップ支援制度のほか、県外からの移住への家賃補助制度などに取り組んでいる。また、ふるさと納税、ホットサンドルや農泊事業など関係人口の創出のほか、都市部

県人会への市産品提供や市長メッセージの送付、企業立地促進奨励金など雇用環境の創出、子育て支援策や教育環境の充実など全庁的な取り組みに加え、今年度からは、第3次中讃定住自立圏共生ビジョンに移住交流促進事業を位置づけ、広域での取り組みも検討し、実施していく。

コロナ禍の学びの機会 どう確保？

Q



内田俊英議員

コロナ禍の授業や教職員研修で活用が進むタブレット端末は、単に文房具ではなく、開かれた学校、また、多様な学びの場を保障し得るツールとすることができると。これからの丸亀の教育行政の中で、どういう取り組みをするのか。今後の方針は。



A

教育長 本市では、ICT

T機器を日々の授業のほか、学校行事の配信や島嶼部と陸地部との交流などに活用してきた。教職員研修でも、授業公開や討議会を開催し、研究授業をクラウド上に公開するなど、コロナ禍でも資質向上の機会は

確保されるよう取り組んでいる。今後は、先進的な取り組みも参考にし、県内他市町と情報交換をしながら、主体的、対話的で深い学びの実現とすべての子どもへの学びの保障に向け、ICT機器のよさを最大限に生かせるよう、研究を進めていく。



子ども達の使っているChromebook

難聴高齢者へ 「きこえ」の支援を

Q



中谷真裕美議員

認知症の要因の一つと指摘される加齢性難聴への対策について、次期介護保険事業計画等策定に向け、実態調査に「きこえ」の設問を加え、「きこえ」の支援を次期計画に盛り込んでいただきたい。また、高額な補聴器への購入補助を本市でも行うよう求めるが、いかがか。



A

健康福祉部長 次期計画

への「きこえ」支援の位置づけは、計画策定時のニーズ調査で外出を控える原因の設問設定を行い、その結果等を踏まえ、関係各課と検討し、介護保険事業計画等策定委員会において協議していきたい。また、難

聴高齢者が早期に適切な補聴器を利用することは、認知症対策や高齢者の社会参加の推進につながると考えるが、補聴器購入補助は市単独でなく、国の制度において整備されることが最良と考えている。



丸亀市議会の議場にも設置しています

水難事故防止 学校での取り組みを

Q



神田泰孝議員



救助が来るまで「浮いて待て!」

学校で定期的に水難事故対策看板を取り上げることができないか。本市では、現在も危険箇所を周知する旗が通学路に設置されている。設置時に看板の内容について取り上げれば、相乗効果も高まり、子ども達にも伝わりやすいと考えるが、学校での取り組みについて、市の考えは。



A

教育長

本市では、小中学校で着衣水泳を行うとともに、毎年夏には、危険箇所子どもたちだけで近づかないよう生徒指導担当や担任が伝え、保護者へも文書を発出している。ため池等の危険性を知り、落ちたときの行動を体験的に学ぶこ

と、そして子どもたちだけでなく保護者も理解することがより効果的な水難事故防止対策につながると考えるため、看板の内容を学校での水泳指導や生活指導、安全指導の際に活用するよう各学校に呼びかけ、関係機関と連携しながら取り組んでいく。

電動キックボードを まちなか観光に

Q



水本徹雄議員



電動キックボードで 市内の散策や観光を

電動キックボードの公道利用に関する基準を盛り込んだ道路交通法改正案が衆議院で可決された。シェアリングレンタルを始めた民間事業者や、まちなかの回遊性を高め、観光の一助とする自治体、また、実証実験等を行う自治体もある。観光施策として電動キックボードの活用を検討してはどうか。



A

産業文化部長

現在、本市を周遊、回遊する手段には、公共交通機関やレンタサイクルがある。今後は、電動キックボードのニーズが高まってくるものと推察されるが、電動キックボードを導入、活用していく上で、利用者や歩行者等へ

の安全性を十分に考慮する必要がある。実証実験や民間事業者との連携協定の締結を行っている自治体の先進事例を注視しながら、電動キックボードの安全性や活用方法などについて法が施行されるまでの間に研究していきたい。

委員会審査

市長から提案された議案について、委員会ごとに審査しました。



教育民生委員会

■審査した議案

議案第56、57、59、62、64、66号

主な質疑

Q 委員 新型コロナワクチンの廃棄について、本市の状況とその要因は。

A 健康福祉部 ワクチンを廃棄する事案は発生していない。大規模接種会場での接種が継続的に行えたことや接種状況を確認しながらワクチンの受け取り数を軽減したことなどが要因と考えられる。

Q 委員 城泊事業での旅行商品の企画開発で、市が所有する観光資源とコラボレーションする考えは。

A 教育部 丸亀城に宿泊するだけでなく、周辺の城下町や中津万象園等を周遊してもらえりような商品開発を、観光協会とも連携しながら実現していきたい。

審査結果

原案可決。

都市環境委員会

■審査した議案

議案第56、60、61号、請願第1号

主な質疑

Q 委員 公共施設等再生可能エネルギー導入調査事業の調査内容および期間は。

A 市民生活部 公共施設の屋根、駐車場および未利用地部分などを調査し、導入の可能性の高い箇所を更に調査していく。期間は令和5年9月までと考えている。

Q 委員 漁業者への漁業用燃油価格高騰対策事業の周知および支給方法は。

A 産業文化部 漁業協同組合が窓口となるため、各組合員への周知を図っていたと共、市もパンフレット等を作成し、周知に努める。支給方法は、漁業者の要望を踏まえ、決定する。

審査結果

議案はすべて原案可決。
請願は継続審査。

総務委員会

■審査した議案

議案第56、58、65号

主な質疑

Q 委員 消防ポンプ自動車の購入にあたり、以前の車両との違いは。また、消防車両の更新基準と更新計画は。

A 消防本部 操作が簡単になり、モニターで吐水量や吸水量、故障箇所がわかるようになった。また、車両の種類ごとに更新年限を定め、走行距離や損耗度、車検の時期等を総合的に判断し、更新計画を立てている。

Q 委員 住宅ローン控除の見直しによる市税の影響は。

A 総務部 国からの財政措置があるため、今回の制度改正による税収減に、実質的な影響はない。

審査結果

原案可決。

質疑

4回目の予防接種対象者

Q 横川議員 新型コロナワクチン（4回目）の接種対象が「60歳以上または18歳以上60歳未満の基礎疾患を有する者」と、これまでと異なるのはなぜか。

A 健康福祉部長 諸外国の対応状況や有効性に関する報告などを踏まえ、国で議論を重ねられた結果の対象者である。60歳未満の基礎疾患を有する者などには、努力義務の規定を適用せず、り患した場合の重症化予防を目的として決定されている。

公共施設への

再エネ導入促進

Q 中谷議員 本調査やそれに基づく実行計画策定中のゼロカーボンへの対策、また、建設途上の新市民会館等公共施設への再エネ導入促進はどうなるのか。

A 市民生活部長 実行計画策定期間中も、現行の率先実行計画を基に、ゼロカーボンシティ推進本部を設置し、全庁をあげて温室ガス排出削減に取り組む。また、公共施設の改築、改修の情報把握に努め、効果的な再エネ導入を担当部署と協議していく。

意見書案第1号 可決 意見書案を可決し、送付しました。

水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書（要約）

国の令和4年度農林水産予算では、水田活用の直接支払交付金の見直しを行い、今後5年間、水稲の作付けを一度も行わなければ対象外とするという内容が示された。農水省の見解は、平成29年の要綱改正以降、湛水機能を持たないものは対象外との主張であるが、要綱上は水稲を作付けしなければならないとは記載されていない。本市では、稲作から麦作等への転作を推進するとともに、水田活用の直接支払交付金等を活用し、集落営農組織等担い手農業者の育成、経営支援、遊休農地の解消、荒廃農地の抑制を行ってきた。

麦作担い手農業者が全ての農地で5年に一度水稲作付けを行うことは、新たな機械整備や労力の増加、また、個々の借受農地に対して香川県特有のため池に依存する複雑な水利慣行に対処していかねばならず、借受地での水稲作付けは現実的に困難を極めるものである。これらのことから、水稲作付けの義務化によ

り、担い手農業者の経営基盤に大きな打撃となることは間違いなく、担い手に集積された農地の解約、離農、集落営農組織の解散による荒廃農地の増加も危惧されるため、十分に検証したうえで、次の事項を確実に実現するよう強く求める。

記

1 制度の見直しによって交付対象から除外される農地が生ずることは、農地の維持や農業水利施設の管理が困難となることなどが想定されるため、離農者および耕作放棄地の増加を招くことのないよう、地域の実情に合った制度内容とする。

1 国土保全と農地及び集落維持を図るため、交付対象水田を畑地化した場合、また、土地利用型の営農形態にあっても、農業生産者の所得が減少することなく、意欲を持って生産活動に取り組める新たな支援措置を速やかに講ずること。

全議案可決

議案はすべて全会一致で可決しました。

水難事故防止 学校での取り組みを

Q



神田泰孝議員



救助が来るまで「浮いて待て!」

学校で定期的に水難事故対策看板を取り上げることができないか。本市では、現在も危険箇所を周知する旗が通学路に設置されている。設置時に看板の内容について取り上げれば、相乗効果も高まり、子ども達にも伝わりやすいと考えるが、学校での取り組みについて、市の考えは。



A

教育長

本市では、小中学校で着衣水泳を行うとともに、毎年夏には、危険箇所子どもたちだけで近づかないよう生徒指導担当や担任が伝え、保護者へも文書を発出している。ため池等の危険性を知り、落ちたときの行動を体験的に学ぶこ

と、そして子どもたちだけでなく保護者も理解することがより効果的な水難事故防止対策につながると考えるため、看板の内容を学校での水泳指導や生活指導、安全指導の際に活用するよう各学校に呼びかけ、関係機関と連携しながら取り組んでいく。

電動キックボードを まちなか観光に

Q



水本徹雄議員



電動キックボードで 市内の散策や観光を

電動キックボードの公道利用に関する基準を盛り込んだ道路交通法改正案が衆議院で可決された。シェアリングレンタルを始めた民間事業者や、まちなかの回遊性を高め、観光の一助とする自治体、また、実証実験等を行う自治体もある。観光施策として電動キックボードの活用を検討してはどうか。



A

産業文化部長

現在、本

市を周遊、回遊する手段には、公共交通機関やレンタサイクルがある。今後は、電動キックボードのニーズが高まってくるものと推察されるが、電動キックボードを導入、活用していく上で、利用者や歩行者等へ

の安全性を十分に考慮する必要がある。実証実験や民間事業者との連携協定の締結を行っている自治体の先進事例を注視しながら、電動キックボードの安全性や活用方法などについて法が施行されるまでの間に研究していきたい。

委員会審査

市長から提案された議案について、委員会ごとに審査しました。



教育民生委員会

■審査した議案

議案第56、57、59、62、64、66号

主な質疑

Q 委員 新型コロナワクチンの廃棄について、本市の状況とその要因は。

A 健康福祉部 ワクチンを廃棄する事案は発生していない。大規模接種会場での接種が継続的に行えたことや接種状況を確認しながらワクチンの受け取り数を軽減したことなどが要因と考えられる。

Q 委員 城泊事業での旅行商品の企画開発で、市が所有する観光資源とコラボレーションする考えは。

A 教育部 丸亀城に宿泊するだけでなく、周辺の城下町や中津万象園等を周遊してもらえりような商品開発を、観光協会とも連携しながら実現していきたい。

審査結果

原案可決。

都市環境委員会

■審査した議案

議案第56、60、61号、請願第1号

主な質疑

Q 委員 公共施設等再生可能エネルギー導入調査事業の調査内容および期間は。

A 市民生活部 公共施設の屋根、駐車場および未利用地部分などを調査し、導入の可能性の高い箇所を更に調査していく。期間は令和5年9月までと考えている。

Q 委員 漁業者への漁業用燃油価格高騰対策事業の周知および支給方法は。

A 産業文化部 漁業協同組合が窓口となるため、各組合員への周知を図っていたと共、市もパンフレット等を作成し、周知に努める。支給方法は、漁業者の要望を踏まえ、決定する。

審査結果

議案はすべて原案可決。
請願は継続審査。

総務委員会

■審査した議案

議案第56、58、65号

主な質疑

Q 委員 消防ポンプ自動車の購入にあたり、以前の車両との違いは。また、消防車両の更新基準と更新計画は。

A 消防本部 操作が簡単になり、モニターで吐水量や吸水量、故障箇所がわかるようになった。また、車両の種類ごとに更新年限を定め、走行距離や損耗度、車検の時期等を総合的に判断し、更新計画を立てている。

Q 委員 住宅ローン控除の見直しによる市税の影響は。

A 総務部 国からの財政措置があるため、今回の制度改正による税収減に、実質的な影響はない。

審査結果

原案可決。

質疑

4回目の予防接種対象者

Q 横川議員 新型コロナワクチン（4回目）の接種対象が「60歳以上または18歳以上60歳未満の基礎疾患を有する者」と、これまでと異なるのはなぜか。

A 健康福祉部長 諸外国の対応状況や有効性に関する報告などを踏まえ、国で議論を重ねられた結果の対象者である。60歳未満の基礎疾患を有する者などには、努力義務の規定を適用せず、り患した場合の重症化予防を目的として決定されている。

公共施設への再エネ導入促進

Q 中谷議員 本調査やそれに基づく実行計画策定中のゼロカーボンへの対策、また、建設途上の新市民会館等公共施設への再エネ導入促進はどうなるのか。

A 市民生活部長 実行計画策定期間中も、現行の率先実行計画を基に、ゼロカーボンシティ推進本部を設置し、全庁をあげて温室ガス排出削減に取り組む。また、公共施設の改築、改修の情報把握に努め、効果的な再エネ導入を担当部署と協議していく。

意見書案第1号 可決 意見書案を可決し、送付しました。

水田活用の直接支払交付金の見直しに関する意見書（要約）

国の令和4年度農林水産予算では、水田活用の直接支払交付金の見直しを行い、今後5年間、水稲の作付けを一度も行わなければ対象外とするという内容が示された。農水省の見解は、平成29年の要綱改正以降、湛水機能を持たないものは対象外との主張であるが、要綱上は水稲を作付けしなければならないとは記載されていない。本市では、稲作から麦作等への転作を推進するとともに、水田活用の直接支払交付金を活用し、集落営農組織等担い手農業者の育成、経営支援、遊休農地の解消、荒廃農地の抑制を行ってきた。

麦作担い手農業者が全ての農地で5年に一度水稲作付けを行うことは、新たな機械整備や労力の増加、また、個々の借受農地に対して香川県特有のため池に依存する複雑な水利慣行に対処していかねばならず、借受地での水稲作付けは現実的に困難を極めるものである。これらのことから、水稲作付けの義務化によ

り、担い手農業者の経営基盤に大きな打撃となることは間違いなく、担い手に集積された農地の解約、離農、集落営農組織の解散による荒廃農地の増加も危惧されるため、十分に検証したうえで、次の事項を確実に実現するよう強く求める。

記

1 制度の見直しによって交付対象から除外される農地が生ずることは、農地の維持や農業水利施設の管理が困難となることなどが想定されるため、離農者および耕作放棄地の増加を招くことのないよう、地域の実情に合った制度内容とする。

1 国土保全と農地及び集落維持を図るため、交付対象水田を畑地化した場合、また、土地利用型の営農形態にあっても、農業生産者の所得が減少することなく、意欲を持って生産活動に取り組める新たな支援措置を速やかに講ずること。

全議案可決

議案はすべて全会一致で可決しました。

議会だよりの 表紙を飾ってませんか

表紙写真
募集!!

募集する写真は…

テーマ

わたしの好きな丸亀

内 容

- 1年以内に撮影したもの
- 未発表のもの
- 人物が特定できるもの
や個人の所有物は、
本人もしくは所有者の
承諾を受けたもの

応募期間

- 11月1日発行号
9月30日まで
- 2月1日発行号
12月20日まで
- 5月1日発行号
3月31日まで
- 8月1日発行号
6月30日まで

- ※広報広聴委員会で採用作品を選定します。
- ※応募作品は返却しません。
- ※著作権・肖像権など、あらゆる問題は応募者の責任と負担
において一切を解決するものとします。

写真とともに住所、氏名、年齢など応募用紙に記入のうえ、郵送、メールまたは持参してご応募ください。

〒763-8501

丸亀市大手町二丁目4番21号
丸亀市議会事務局 宛

✉ gikai@city.marugame.lg.jp

お問い合わせは 0877-24-8828 まで

詳しくはこちら▶



編集 後記

新型コロナウイルス、物価や燃料高、緊迫する国際情勢、気候変動による影響等我々を取り巻く社会環境は非常に厳しい状況です。そんな中行われた参議院議員選挙の本市投票率は49・22%。前回より微増したものの、特に10代・20代の若い世代の投票率が依然として低い状態です。

「政治」と聞くとあまり関係がないと考えられますか? 「生活を良くすること」と言ったらどうでしょう?

昨年度、市内二校の学生と活発な意見交換会を開催することができました。選挙権年齢が18歳以上となったものの選挙における若年層の投票率が低い傾向にあること、また在学中から主権者として市政に関心を持つてもらいたいことから開催しているものです。

今年度はこの学生との意見交換会とともに、市民の皆さまとの意見交換等の機会を設け、政治を身近に感じられ参画できる議会を目指します。また市民に見える開かれた議会に向けて積極的に情報発信してまいります。

皆さまの生活を良くすることが政治です。どうぞ様々な機会を捉えご参加下さい。まずは今月の香川県知事選挙、香川県、丸亀市、そして皆さまの生活を良くするために投票にまいりましょう。

広報広聴委員長 東 由美